

# 長野県知事の意見

(長野広域連合B焼却施設建設事業に係る環境影響評価準備書)

## [全般]

- 1 調査、予測、評価結果の丁寧な記載、寄与率など具体的な数字を用いた説明や図表の活用等により、住民に対してより分かりやすい図書となるよう努めること。
- 2 施設整備や管理運営について、安全性の確保や環境の保全に最大限配慮するとともに、稼働状況等の情報を分かりやすく積極的に公表し、地域住民の安全・安心の確保に努めること。

## [騒音、振動、低周波音]

- 3 予測条件や予測式とその出典など予測評価の根拠を明確にするとともに、新たな科学的知見の収集を行い、より精度の高い図書となるよう努めること。
- 4 低周波音について、G特性音圧レベルによる超低周波音の領域だけでなく、可聴音の領域を含めた周波数別の予測評価を行うこと。また、評価に当たっては、比較対象とする数値の根拠を明確にすること。

## [水象、地形・地質]

- 5 掘削工事に伴う地下水及び地形・地質への影響について、ボーリング調査の結果等を踏まえて、より具体的な環境保全措置を記載すること。また、ボーリング調査においてN値が低い箇所が確認されていることから、土地の安定性についても検討を行うこと。

## [植物]

- 6 帰化植物等が多く確認されている調査結果を踏まえ、土地の改変に伴う外来種の逸出による周辺の希少種への影響を回避・低減するため、適切な環境保全措置を講じること。

## [動物、生態系]

- 7 ジュウサンホシテントウは、千曲市で初めての確認となることから、工事実施前に個体が確認された場合は適切な場所への移殖を行うとともに、生息環境である桃の木について、対象事業実施区域内外における割合を定量的に比較し、移植の必要性を検討すること。また、対象事業実施区域外の果樹園等における発生の状況のモニタリングを検討すること。

8 チョウゲンボウは鳥類よりもネズミや昆虫類を餌とすることが多いと考えられるため、対象事業実施区域内外におけるネズミ類の個体数等の比較により、チョウゲンボウに対する影響を予測評価すること。